

拓殖大学所蔵「長谷川聰哲錦絵コレクション」

恩賜記念館特設ギャラリー

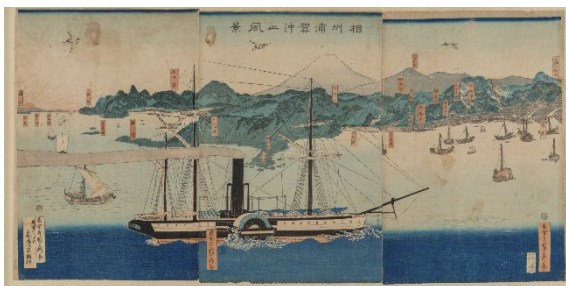
錦絵展示会 OPEN

日時：2026年3月23日（月）～
平日 10:00～16:00

場所：拓殖大学八王子国際キャンパス
恩賜記念館特設展示会場

錦絵とは：

浮世絵師たちが新たな手法を取り入れて、幕末の世相や明治維新、文明開化の有様を描き出したものです。その斬新で魅力的な作品は、写真が登場するまで、民衆の視覚に訴える唯一の報道媒体でもありました。



長谷川聰哲錦絵コレクションとは：

文明開化期の錦絵蒐集家として知られる中央大学名誉教授・長谷川聰哲先生は 2025 年、その膨大なコレクションの中から母校拓殖大学に、学校創設の起点となった近代日本の開港・開市・開国の歴史をたどる作品を厳選し、錦絵（及び石版画、リトグラフ、和綴本等）200 点以上を寄贈されました。

拓殖大学では、主に開港場（横浜）、外国人居留地（築地）の西洋人、外交・商業施設等を題材とするこれら作品群を、学術性と芸術性を併せ持つ拓殖大学の貴重な財産として、学内外に知らしめ、広く研究、鑑賞に資する使命があると考え、大学キャンパス内に展示することと致しました。今回は、コレクションの中から錦絵 17 作品を展示します。今後、逐次作品の入れ替えを行う予定です。